



がんばれ!ニッポン!

スポーツから生まれる、笑顔がある。

**東日本大震災復興支援
JOC 「がんばれ!ニッポン!」 プロジェクト
～スポーツから生まれる、笑顔がある。～**

オリンピックデー・フェスタ in いしのもり

2016年8月11日（木・祝）

フォトレポート

**公益財団法人日本オリンピック委員会
オリンピックデー・フェスタ 運営事務局**

「オリンピックデー・フェスタ in いしのもり」

- 実施回数 : 平成28年度 第4回目 (通算932回目)
- 実施日時 : 2016年8月11日 (木・祝) 9:00 ~ 12:00
- 天 候 : 晴れ (気温 = 24.7~27.7℃)
- 会 場 : 石森ふれあいセンターグラウンド、体育館 (宮城県登米市中田町石森字茶畑7番地)
- 主 催 : 公益財団法人日本オリンピック委員会
- 後 援 : スポーツ庁、宮城県
- 協 力 : 登米市、登米市教育委員会、石森コミュニティ運営協議会、
アシックスジャパン株式会社
- 参加対象 : 石森地区住民
- 参加人数 : 91名
- 実施形式 : 運動会形式
- 参加オリンピックアン : 5名

森田智己(水泳/競泳)	グリーン		4位
三ヶ田礼一(スキー/ノルディック複合)	ブルー		1位
馬淵智子(ソフトボール)	イエロー		2位
海淵萌(カヌー)	レッド	つながる火	5位
小口貴久(リュージュ)	ブラッグ		3位
- 司会進行 : 岩手佳代子
- 取 材 : 大崎タイムス、登米コミュニティエフエム (2社)

参加オリンピック



森田智己



三ヶ田礼一



馬淵智子



海淵萌



小口貴久



がんばれ!ニッポン!

スポーツから生まれる、笑顔がある。

実施風景

■会場・受付



司会
岩手佳代子

■開会セレモニー

◇トーチ・オリンピック入場



◇チームジャパン代表挨拶



三ヶ田
礼一

◇開催地代表挨拶

石森
コミュニティ
運営協議会

会長
渡邊義昭



◇来賓あいさつ



登米市
市長
布施孝尚

◇選手宣誓



■ 準備体操（ラジオ体操）



■ スポーツプログラム

◇ 手つなぎ鬼



■ スポーツプログラム ◇ 輪になろう



◇小玉まわし



◇大玉転がし



◆記念撮影



◇オリンピックとのQ&A



■ 閉会セレモニー

◇表彰式



◇聖火「つながる火」紹介



◇オリンピック挨拶



■ 閉会セレモニー

◇ ハイタッチ退場・サイン会



■ 笑顔





がんばれ!ニッポン!

スポーツから生まれる、笑顔がある。

被災地視察

●石森コミュニティ運営協議会副会長佐々木氏の講話



●南三陸被災者との対話





がんばれ!ニッポン!

スポーツから生まれる、笑顔がある。

新聞掲載記事

●2016年8月12日（金） 河北新報社

五輪の素晴らしさ語る

東日本大震災からの復興を支援する「オリンピックデー・フェスティバル」が11日、登米市の石森ふれあいセンターであり、2004年のアテネ五輪で競泳銅メダルの森田智己さん（富谷町出身）ら元五輪選手5人が、同市で暮らす南三陸町の被災者約20人と懇談した。

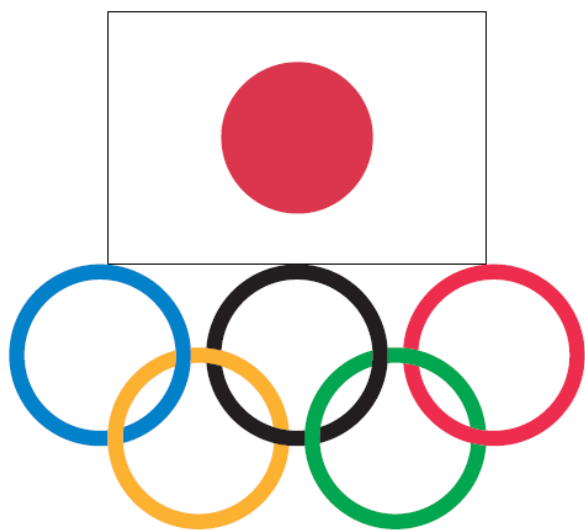
森田さんのほか、アルペールビル五輪スキーマダルの三ヶ田礼一さん（八幡平市出身）、北京五輪ソフトボール金メダルの馬淵智子さん、ロンドン五輪カヌー出場の海淵萌さん、バンクーバー五輪などにリユージュで出場の小口貴久さんが参加した。元選手たちはメダル持参で、「素晴らしい体験ができる五輪に、できるならもう一度チャレンジしたいぐらいだ」といった五輪への思いを披露。被災者からは「知らない土地に移ったがグラウンドゴルフを通じて友人ができた」「震災は地獄のようだったが、踊りで体を動かして元気になった」などと運動の効用を挙げる意見があった。

アテネ・競泳銅の森田さんら、登米訪問

南三陸からの被災者と交流



メダルを手にする被災者と談笑する（奥左から）森田さん、三ヶ田さん、馬淵さん、海淵さん、小口さん



がんばれ!ニッポン![®]

スポーツから生まれる、笑顔がある。